

問題1 次のプロジェクト管理に関する各設問に答えよ。

プロジェクトの作業工程の管理の一つにPERT (Program Evaluation and Review Technique) 図がある。PERT図では作業を矢印(→)で表し、矢印上の数字はその作業の所要日数を表している。矢印が破線の場合、所要日数は0日だが、次の作業の前に行わなければならない作業を表している。また、丸数字はイベントを表しており、各イベントから出ている矢印の作業は、イベントに入る矢印の作業をすべて終了しないと開始できない。ある作業工程をPERT図で表すと、図1のようになった。

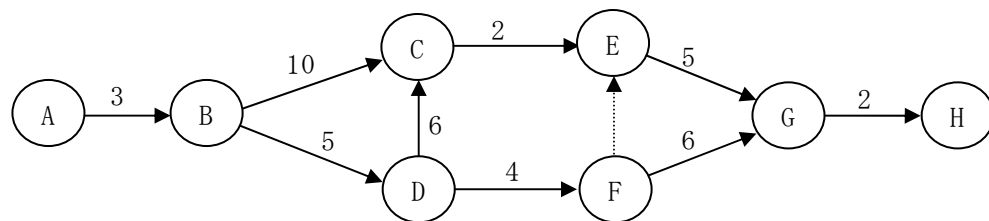


図1 PERT図

<設問1> 図1のPERT図に関する記述中の□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

図1のPERT図における、全作業完了までの最短所要日数は□(1)となり、その時のクリティカルパス(作業の開始から終了まで余裕のない作業経路)は□(2)となる。

また、イベントFからイベントGの作業は全体の作業開始から最短で□(3)日後に開始できるが、全体の作業開始から□(4)日後に作業を開始しても、最短所要日数には影響がない。

(1), (3), (4) の解答群

- | | | |
|-------|-------|-------|
| ア. 10 | イ. 12 | ウ. 15 |
| エ. 21 | オ. 22 | カ. 23 |

(2) の解答群

- ア. A→B→C→E→G→H
イ. A→B→D→C→E→G→H
ウ. A→B→D→F→G→H
エ. A→B→C→F→E→G→H

＜設問 2＞ 作業日数の短縮に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

イベントDからCの作業は現在2人で6日を予定している。この作業を1人増やし3で行った場合、所要日数は (5) 日に短縮でき、クリティカルパスが変わる。その結果、全作業完了までの最短所要日数は、 (6) 日に短縮できる。ただし、作業要員のスキル・生産性は同じとする。

(5) , (6) の解答群

- | | | |
|-------|-------|-------|
| ア. 3 | イ. 4 | ウ. 5 |
| エ. 20 | オ. 21 | カ. 22 |